

<第314回例会>

秋から初冬の横浜本牧ウオーク

日時:2023年12月3日(日) 天候:晴れ 15000歩 約11km

集合:JR根岸駅 10時

コース:根岸駅→不動の滝→本牧市民・臨海公園→八聖殿郷土資料館→本牧元町→小港橋→見晴らし公園
港の見える丘公園→元町・中華街駅(解散)

参加者:平嶋(L) SL=熊坂 松野

佐藤よ 平石 仲 高橋文 小野里 熊島 斉藤優 中村年 平野 小林 山内 伊藤美 小島 福士 平林
桑原 井口 吉岡 飯田 鹿島 山口 望月 高橋吉 川合 入江 亀田 工藤 西川 大幡 小野 廣兼
一般/早川 永井 荻野 計37名

★青空の下、晩秋の横浜本牧を小春日和の中の気持ちの良いウオークとなった。根岸駅から近い白滝不動尊で不動の滝を見るも、水量が少なく流れが殆ど見えなかった。そこから今は高速道路が頭の上を通るかつての海岸線に沿った銀杏並木に行く。秋も深まり歩道上は落ち葉の絨毯。ギンナンを拾いながら歩く人もいたが、殆ど拾われた後で文字通り“後の祭り”。三溪園を含む本牧市民・臨海公園は、昔は海水浴や潮干狩りで賑わった場所。今は埋め立てられ多くの企業が進出して工業地帯の様相を呈している。上海横浜友好園・トンボ池、プールや何故かD51と転車台もあって、市民の憩いの場所となっている。八聖殿の後はひたすら国道沿いを歩き、港の見える丘公園に到着。暫しベイブリッジを眺めてゴールの元町・中華街駅へと向かった。今回のコースはお馴染みのポイントが多かったが、こうして季節を変えて来ると、また違った風景に接することが出来、改めて本牧エリアの魅力を再発見した。

<フォトレポート 小島>



抜けるような青空とベイブリッジをバックに港の見える丘公園で。午後の影が邪魔して顔が暗くなった人も。



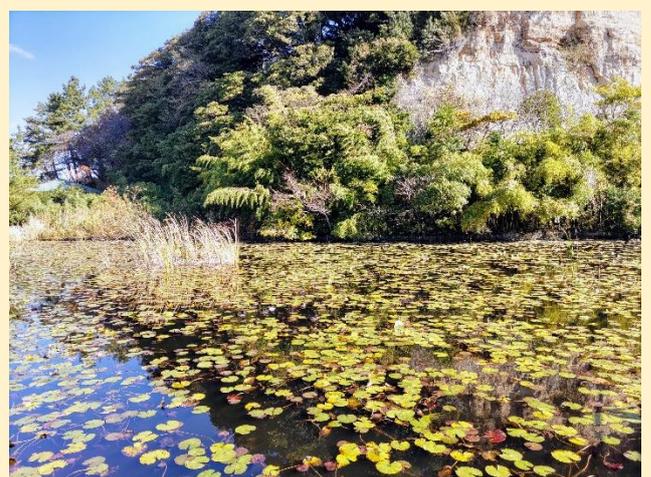
根岸駅を定刻にスタートし不動坂下公園でストレッチとコース説明。一般参加者3人の紹介も。



白滝不動尊のきつい階段を行くグループと・・・・・・・・・・・・・・・・それを下で見送る省エネ(?)のリーダー。



ここからは銀杏の落葉散る道を歩き本牧市民・臨海公園へと入る。白い崖がかつての海岸を物語っている。



公園内には上海横浜友好園があり中国風の建物も。

青空を映すトンボ池の水草が可愛らしい。



何故か公園の一角にはD51が展示されているが、その前で早くも休憩。懐かしい転車台まであった。



まだ昼前にも拘わらず影が長い初冬の日差し。

ランチ場所へと続く長い階段。上には何がある？



木々に囲まれた広場でランチ。うまくテーブルベンチが点在し、全員ゆったりと食事することができた。



八聖殿郷土資料館を見学。八角形の建物は珍しい。

懐かしい玩具が。竹馬やけん玉で童心に帰る。

■八聖殿は、法隆寺夢殿を模した三層楼八角形の建物で、熊本県出身の政治家で通信・内務大臣を歴任した安達謙蔵が建立し、1933(昭和8)年に完成した。幕末から明治にかけての本牧、根岸の写真や市内で使われていた農具や漁具を中心に展示され、孔子や聖徳太子など8人の聖人像が安置されている。



本牧臨海公園こどもの遊び場の碑前で。文字が隠れてしまった。(顔が白飛びしてしまった人も・・・色白?)



秋色の街路樹が風に吹かれ落葉がサラサラと音を立てていた。 短い秋の陽を浴びて暫し日光浴を楽しむ。



横浜と言えばここ、港の見える丘公園に到着。ガーデンバアやハートの石、フランス山の風車も。



公園から見る横浜のシンボルベイブリッジ。暫しウオークの疲れを癒してくれる。



ここからスカイツリーが見えるそうで熱心に探す一団・・・視力2.0? こちらはマッタリ組の面々。

※この後は公園を下った広場でストレッチをし、元町・中華街駅で解散となった。今日は晴れ男・晴れ女が多かったせいか、一日中青空が広がり最高の例会日和となった。果たして月末にかけて天候がどうなるかは神のみぞ知る？出来る事ならば穏やかな年末となることを願いたいものだ。

END